



2022年8月15日

各位

会社名	株式会社 チェンジ
代表者名	代表取締役兼執行役員社長 福留 大士 (コード番号：3962 東証プライム)
問合せ先	取締役兼執行役員CFO 山田 裕 (TEL. 03-6435-7347)

株式会社 DFA Robotics の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2022年8月15日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社 DFA Robotics（以下、DFA Robotics）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

今後、我が国は2060年に国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者になるという世界で類を見ない超高齢化社会になることが予測されています。そのような環境の中、当社グループにおいては「Change People、Change Business、Change Japan」をミッションに掲げ、「生産性をCHANGEする」というビジョンのもと、人口減少下の日本を持続可能な社会にするための事業を展開しております。

また、弊社では「Digitize & Digitalize Japan」を標榜し、デジタルの恩恵をGDPの約7割を占める「東京圏以外」にも行き渡らせるべく事業を推進しております。具体的には、「NEW-IT トランスフォーメーション」事業で民間向けDXを、「パブリテック」事業で公共向けDXを推進し、官民両軸からのアプローチで、地域でのDXを広げる際にボトルネックとなる「人材不足」に答えを提示してまいります。

DFA Robotics は、配送配膳ロボットの導入や、導入オペレーションコンサルティングサービスを通して、飲食業界など、人力でのオペレーション負荷の高い業界における、業務の負荷の軽減・最適化を推進しています。

飲食業界向けに展開をしている「新型配膳ロボット事業」では、ロボットの販売のみならず、蓄積してきたノウハウをもとに、3D マッピング、店舗配膳ルート設計、修理メンテナンスまでをサポートしており、ロボットの導入から、実運用、メンテナンスまでを一気通貫で実行できる体制を持っていることが強みです。また、ロボットの稼働状況をモニタリングすることで、あらかじめ故障を検知するなど、データを用いたサービスの向上にも積極的です。専用のLEDの開発や、機体のラッピングなど、ロボットを用いた広告事業などへの参入も検討しており、また今後の展開として日本でのロボット市場の拡大はもちろんのこと、労働力不足の課題に直面している海外の市場においても、導入を促進していきます。

DFA Robotics の子会社化により、当社は飲食業界の人手不足の問題を皮切りに、病院、介護施設、工場、商業施設、公共施設など、日本のありとあらゆる現場における、人手不足問題の解決のために注力してまいります。さらにはロボット販売・保守・運用のみにとどまらず、現場のロボットから収集した、行動データや位置データなどのビッグデータをもとにした、コンサルティング事業の展開など、新たなビジネスチャンスを創出することが可能になります。

■チェンジについて

チェンジは、「Change People、Change Business、Change Japan」をミッションに掲げ、「生産性を CHANGE する」というビジョンのもと、デジタル人材の育成支援や業務プロセスの革新及びデジタル化を担う NEW-IT トランスフォーメーション事業、NEW-IT トランスフォーメーション事業と相乗効果のある事業への投資を通じ、新事業の創出やビジネスモデル構築を担う投資事業、DX による地方創生の推進をミッションとするパブリック事業の3つの事業を柱として推進・拡大しています。

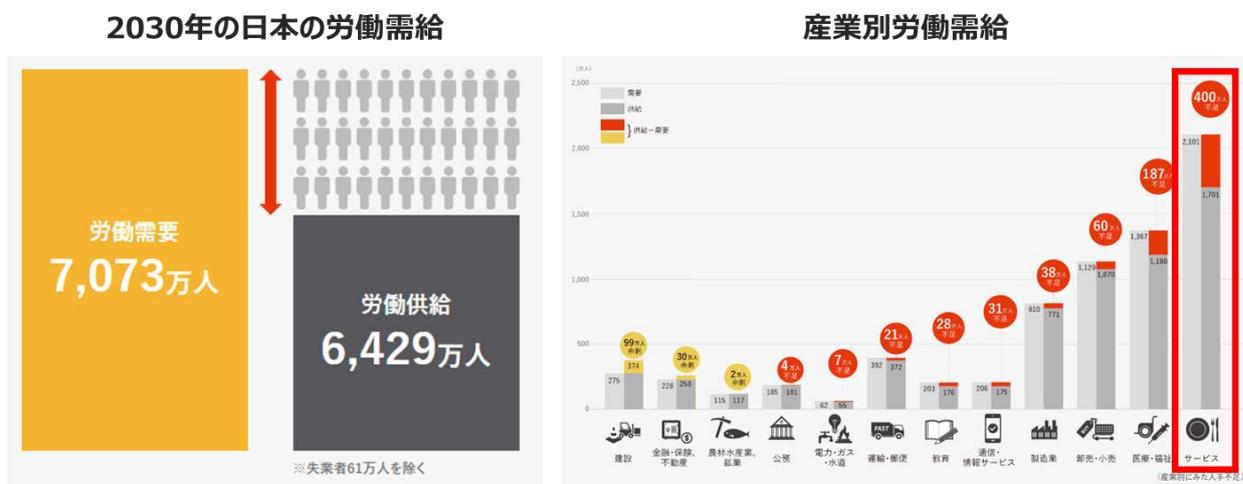
■DFA Robotics について

DFA Robotics は、「次世代の社会インフラの創造」をビジョンに掲げ、世界最先端のロボット技術を活用し、より良い暮らしを実現するための社会インフラ構築を目指す、ロボティクスカンパニーです。また配送ロボットの活用を目指した実証実験、導入サポートなど、世界のロボティクスを活用し未踏領域への挑戦をします。

■子会社化による取組の拡大

2030 年、日本の労働需給は 644 万人不足すると推計されており、特にサービス産業においては 400 万人の不足が見込まれています。チェンジはこれまで主に、人材育成とソフトウェア技術を用いて、日本社会の生産性の向上に取り組んでまいりました。これまで培ってきたソフトウェアという軸に、ロボットすなわちハードウェアの軸が加わることで、ソフト面、ハード面の両輪から人手不足の解決に取り組むことができると考えております。

例えば、人手不足が最も顕著である飲食業界においては、ロボットによる単なる人員の穴埋めにとどまらず、ロボットから収集したデータから、現場のオペレーションを効率化するソフトウェアサービスを開発するなど、強力なシナジー効果を期待しております。



644万人の不足

400万人がサービス業における不足

出典：パナソニック総合研究所 労働市場の未来推計 2030

サービス業における圧倒的な人手不足への、解決策を提示する必要性に迫られている。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社 DFA Robotics			
(2) 所 在 地	東京都渋谷区渋谷一丁目7番5号青山セブンハイツ2F			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 波多野 昌昭			
(4) 事 業 内 容	走行ロボットの輸入、販売、導入支援、アフターフォロー等			
(5) 資 本 金	56百万円			
(6) 設 立 年 月 日	2017年9月			
(7) 大株主及び持株比率	Waveland and Company Inc. : 48.9% Samurai Incubate Fund 5号投資事業有限責任組合 : 12.3% 千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合 : 10.0%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2019年12期	2020年12期	2021年10期
	純 資 産	81百万円	59百万円	128百万円
	総 資 産	278百万円	71百万円	380百万円
	1株当たり純資産	664.02円	483.74円	1,048.03円
	売 上 高	67百万円	220百万円	369百万円
	営 業 利 益	▲26百万円	▲24百万円	74百万円
	経 常 利 益	▲26百万円	▲22百万円	75百万円
	当 期 純 利 益	▲26百万円	▲22百万円	69百万円
	1株当たり当期純利益	▲239.40円	▲180.27円	564.28円
	1株当たり配当金	—	—	—

(注) 2021年10月期に決算期変更を実施したことから当該決算期間は10か月間の変則決算となります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	波多野 昌昭
(2) 住 所	Eden Island Mahe Seychelles
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

(注) 波多野昌昭氏が事前に他の一部株主が保有する DFA Robotics 株式を譲り受け、当社は波多野昌昭氏から同株式を譲り受ける予定となっております。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.00%)
(2) 取 得 株 式 数	96,500株 (うち、普通株式84,300株、A種種類株式12,200株) (議決権の数: 96,500個) (議決権所有割合: 79.27%)
(3) 取 得 価 額	取得価額につきましては、株式取得先との株式譲渡契約における守秘義務を踏まえ、開示を差し控えさせていただきます。当該価額につきましては、第三者機関の株価算定をもとに公正なプロセスを経て株式取得先と交渉により決定しており、公正価額と認識しております。 取得関連費用(概算) : 126百万円

(4) 異動後の所有株式数	96,500 株 (うち、普通株式 84,300 株、A 種種類株式 12,200 株) (議決権の数：96,500 個) (議決権所有割合：79.27%)
---------------	---

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2022年8月15日
(2) 契約締結日	2022年8月15日
(3) 株式譲渡実行日	2022年10月3日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得に伴い、DFA Robotics は 2022 年 10 月 3 日を取得日として当社の連結子会社となる予定です。本株式取得による当社 2023 年 3 月期の通期連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上